

教科	科目	単位数	学年	集団
理数	理数数学Ⅱ演習	2	3	総合探究科（選択）

使用教科書	副教材等
新編数学Ⅱ（数研出版）・新編数学B（数研出版） 新編数学Ⅲ（数研出版）・新編数学C（数研出版）	3 T R I A L 数学Ⅱ+B（数研出版） 白チャート数学Ⅱ+B（数研出版） 授業で指示（後日購入）

科目の目標
2年次に理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱで学んだ幅広い知識の内容の問題演習を行う。その中で、数学における基本的な概念や原理・法則などを理解する。さらに、それらを積極的に活用し数学的活動の中で正しい判断をし、適切に処理・表現することができる。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価方法	
① 小テスト、定期テスト、課題テスト、ノートや課題・レポート等の記述内容の点検 ② 小テスト、定期テスト、課題テスト、ノートや課題・レポート等の記述内容の確認 ③ 小テスト、①②における評価に基づき総合的に評価する。	

学習計画						
月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
一 学 期	式と証明	数学Ⅱ	数学ⅠAⅡBCの内容の教科書レベル+ α の問題を多く解くことにより、標準的難易度の問題を解くことのできる学力を身につける。	○	○	○
	複素数と方程式	数学B				
	図形と方程式	数学C				
	三角関数					
	指数関数・対数関数					
	微分法と積分法					
	数列					
確率分布と統計的な推測						
	ベクトル					
二 学 期	式と証明	数学Ⅱ	数学ⅠAⅡBCの内容の基礎的な受験レベルの問題を多く解くことにより、上級学校の一般選抜に対応できる学力を身につける。	○	○	○
	複素数と方程式	数学B				
	図形と方程式	数学C				
	三角関数					
	指数関数・対数関数					

期	微分法と積分法 数列 確率分布と統計的な推測 ベクトル					
三 学 期	式と証明 複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数・対数関数 微分法と積分法 数列 確率分布と統計的な推測 ベクトル	数学Ⅱ 数学B 数学C	数学ⅠAⅡBCの内容の共通テストレベルの問題を多く解くことにより、大学の一般選抜における受験問題に対応できる学力を身につける。	○	○	○